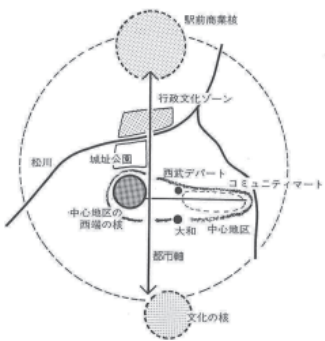


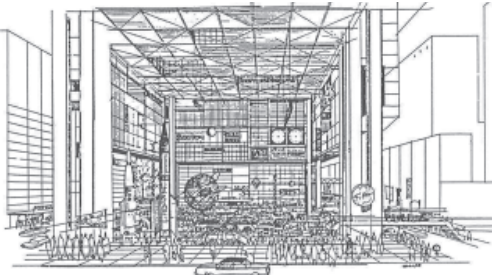
対象地は富山市の中心部、市民会館に隣接する地区である。都市機能施設の郊外化、居住人口の流出等に見られる中心市街地の衰退現象に対する処方策として、市民病院の移転跡地を種地とし、周辺公共施設も含めた再開発構想を立案した。

ここでは新たな市民活動拠点としての市民プラザ、城址公園、松川から総曲輪商店街にいたる大手モールの提案、周辺の再開発の段階的構想の提案、富山駅前通りのシンボルロード整備、冬期（積雪時）にも市民が集えるアトリウム（都市の居間＝シティールーム）などを提案してきた。

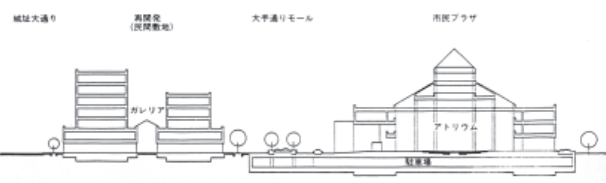
作業は横総合計画事務所とアブルの共同作業とし、東京大学都市工学科森村道美教授（当時）の助言のもとに進められた。なお市民プラザと大手モールの横総合計画事務所の設計に委ねられ、シンボルロード整備（県事業）、市街地再開発事業等の関連事業はほぼ計画に基づき実施に移されている。またアトリウムは位置を変えて隣接する総曲輪商店街の一角に実現している。



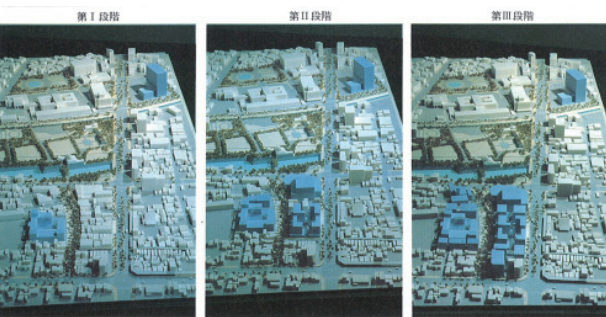
都心の核としての総曲輪地区



アトリウム
（都市の居間
＝シティールーム）



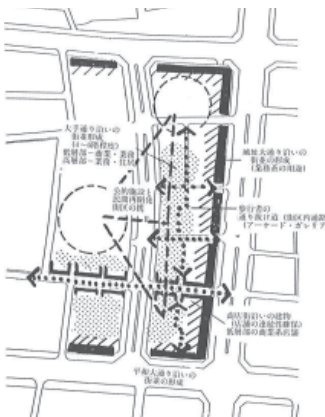
市民プラザの提案



- | | | |
|--|---|--|
| 第Ⅰ段階
大手通り
トランジットモール化をはかる
市民プラザの建設にあわせ
地下に駐車場を設ける
市民プラザ(Ⅰ)
旧市民病院敷地に市民プラザを
建設する
民間敷街区
再開発に向けての準備をすすめる | 第Ⅱ段階
市庁舎
現敷地において、市庁舎を建てかえる
市民プラザ(Ⅱ)
北側の敷地をとり込み施設内容の充実を図る
文化ホール
市公会堂敷地を中心として文化ホールを建設する
民間敷街区
再開発ビルを建設する | 第Ⅲ段階
保健所敷地
都心センターゾーンにふさわしい公共施設へと用途転換をはかる
民間敷街区
再開発を促進する |
|--|---|--|

整備構想案 A 段階計画

経緯 富山市総曲輪西地区整備構想 '85.1～'86.3(富山市)



再開発構想概念図



整備構想案 A

担当：中野、北嶋、共同：横総合計画事務所